

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課
担当名：花き・果樹・特産・水産担当
内線：4151 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P35	陸上養殖によるワカサギ生産技術開発事業			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	水産研究費	水産研究所費		
事業期間	令和 6年度～令和10年度	根拠法令	内水面漁業の振興に関する法律第十二条			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール SDGsターゲット	2 2-3, 2-4	
1 事業概要 陸上養殖によるワカサギ生産技術と採卵技術の開発を行い、放流用種苗の確保が難しいワカサギ卵を安定的に供給することで内水面漁業の振興を図り、陸上養殖の技術や知見の蓄積により陸上養殖の振興を図る。 ア 親魚生産技術の開発 執行節減による事務経費の減額 △880千円 イ 採卵技術の開発 執行節減による事務経費の減額 △157千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 親魚育成技術の開発 24,685千円 イ 採卵技術の開発 1,304千円 (2) 事業計画 ア 陸上養殖施設を整備、効率的にワカサギ親魚を生産する技術を開発 イ 効率的にワカサギ卵を採卵する技術を開発 (3) 事業効果 ・ 県内漁協にワカサギ種苗を安定的に供給することで、釣り人が増加するなど、水産業振興が図られる。 ・ 陸上養殖の技術が蓄積され、陸上養殖業者への技術指導・普及の体制が整い、養殖業の振興が図られる。 【活動指標(アウトプット)】 ワカサギ親魚生産量120kg、ワカサギ卵の採卵量1,500万粒 【成果指標(アウトカム)】 ワカサギ増殖目標量達成率100%、ワカサギ遊漁者の増加 1 万人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 漁業協同組合と連携し、効果的な事業の実施を図る。 (5) 補正予算の概要 ア 執行節減による事務経費の減額 イ 執行節減による事務経費の減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人＝9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,037								△1,037	24,952
現計額	25,989								25,989	

事業内訳書

事業名	陸上養殖によるワカサギ生産技術開発事業		
単位事業名	親魚育成技術の開発	予算額	△ 880千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△880	—	
合計	△880	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△12	—	執行節減による普通旅費の減
需用費	△787	—	執行節減による消耗品費、光熱水費、修繕料の減
役務費	△81	—	執行節減による手数料の減
合計	△880	—	

単位事業名	採卵技術の開発	予算額	△ 157千円
-------	---------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△157	—	

単位事業名	採卵技術の開発	予算額	△ 157千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△157	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△3	—	執行節減による普通旅費の減
需用費	△154	—	執行節減による消耗品費、光熱水費の減
合計	△157	—	